

「毛矢の繰舟」体験

日時：平成29年4月～10月 10:00～16:00
 (夜間運航 18:00～21:00)
 場所：九十九橋上流左岸舟着場
 主催：福井県
 実施：13回実施
 体験者：948名(うち140名 夜間運航体験者)

(内容)

「毛矢の繰舟」を4月～10月の7ヶ月間、土・日曜、祝日を中心に運航した。平成29年度は4月の福井春まつり、8月の花火にあわせて夜間運航を実施、期間中は多くの方が体験し、非常に好評でした。
 また、会場にパネルを設置し、治水啓発活動を行いました(他イベントも同様)。



治水啓発のため会場にパネルを設置

足羽川での治水活動

◇福井豪雨の被害(平成16年7月)

総降水量 283mm(美山)など、福井を中心に集中豪雨

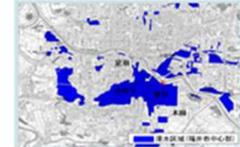
1年度の7月の1か月分を上回る量



<被害>
 死者行方不明者 5名
 全壊家屋 57世帯
 半壊・一部損壊家屋 350世帯
 床上浸水3,313世帯
 床下浸水10,326世帯

福井市中心部の浸水状況(福井豪雨)

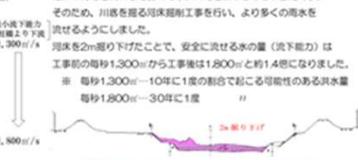
堤防が決壊し、近距離に浸水が広がりました。



◇治水対策(河川の整備と足羽川ダム)

足羽川の整備

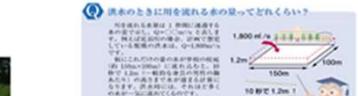
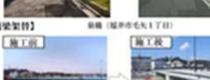
【河床掘削】 施工費(平成19年11月) 花井橋下流付近(福井市野原町) 福井市街地を流れる足羽川では、川底を上げるのが困難です。そのため、川底を掘削する河床掘削工事をし、より多くの雨水を



【橋脚強化】



【橋脚架設】



洪水時の浸水箇所などで堤防を強化しています。
 左の写真は、越水した場合に堤防が崩壊しないためのブロック積みです。反対の川側では、浸水防止のためのブロック張をしています。
 ・橋脚を減らすことで、橋脚が水や流木をせきとめることがなくなる、水を流しやすくできます。(写真は、5本から2本に減らした架橋)
 ・その他の対策
 堤防への浸透対策・浸食対策として、治水護岸・高水護岸
 投資主による管理部の整備、特殊堤の強化、etc

足羽川ダム(平成38年度完成予定)



足羽川ダムは平成38年度完成を目指して建設中です。完成すると、足羽川の河川整備とあわせて、福井豪雨(16.7)を含む戦後最大規模の大雨に対応できます。
 備前一泊田町小橋
 備前一流水型ダム(洪水時にのみ水を行きます。通常時は水を貯めないため、環境や生き物に優しいダムです。)
 高さ96m(洪水型ダムとして日本最大)
 (福井駅前のパビリオンは90m)

